



## 第 1 回全国肝炎コーディネーター準備会議に参加しました！



2023年3月11日、東京の原告団事務所において全国肝炎医療コーディネーター準備会議を行いました。北陸からは原告 2 名、弁護士 1 名が参加。肝炎医療コーディネーターとして活躍している患者自身から、患者だから分かること、伝えられることがあるなどと報告がありました。みなさん、常に勉強をして最新の情報を収集したり、患者同士の繋がりを大切にしたりして活動しているんだと実感し、私も頑張ろうと思えました。【北陸原告団共同代表川上ゆきえ】

### 肝炎医療コーディネーター・原告坪田さん(福井)にインタビュー！



原告No202 坪田さんは、2018 年(平成 30 年)に福井県から肝炎医療コーディネーターに認定されて、コーディネーターとして活動されています(肝炎患者自身のコーディネーターは坪田さんが北陸第 1 号)。コーディネーターになったきっかけや役割などをお聞きしました。

#### Q. 肝炎医療コーディネーターになったきっかけは？

2018(平成 30)年 8 月頃、福井県済生会病院で肝炎医療コーディネーターの講習会が開かれていることを知りました。それ以前から、福井県済生会病院の肝臓病教室への参加や福井県の肝炎対策協議会の傍聴という経験を通じて、行政、医療、患者がもっと連携するべきと感じていました。講習会のことを知ったときに、肝炎患者である自分がコーディネーターになることで行政、医療、患者を橋渡しする役割が担えるのではないかと思立ちました。

そこで、同年 8 月開催の肝炎医療コーディネーター講習会を受講し、その後に試験(肝臓病勉強会レベル)を受けてコーディネーターの資格を得ました。

#### Q. 肝炎医療コーディネーターの役割を教えてください。

肝炎医療コーディネーターには、ウイルス性肝炎についての正しい知識を普及啓発することや、肝炎ウイルス検査や医療機関での受診を勧奨したり医療費助成制度を案内したりすることにより肝炎ウイルス感



染者・患者と医療機関、行政機関をつなげること、というような役割が期待されています。

私の場合、厚生労働省の“知って、肝炎プロモーター”という役割もあわせて引き受けて、ウイルス性肝炎に関する啓発グッズを医療機関などに配る仕事に力を入れています。また、肝臓病教室や患者交流会などの機会を使って、肝炎治療のことや行政手続のことなどを患者さんに積極的に情報共有するよう心がけています。

他都道府県のコーディネーターとの交流もあり、大臣協議の前日に開催される肝炎プロモーター会議ではコーディネーター同士で都道府県をまたいでの情報交換を行っています(コロナ禍以降はweb開催)。

### Q. コーディネーターになって良かったことはありますか

コーディネーターとして医療機関や行政との連携する活動を通して、治療や行政手続に関する自分自身の疑問や不安がかなり解消できます。そのうえで、自分が知ったことを他の肝炎患者さんに共有して疑問や不安の解消を共有できたときに、コーディネーターになって良かったと感じます。具体的な例でいえば、かかりつけ薬局の登録方法に関する疑問を福井県の担当者に質問したところ解決方法を提案してくださって、福井県から提案してもらった解決方法を他の患者さんとも共有できたというケースがありました。

それから、コーディネーターの研修会で、行政の担当者や医療従事者の方々と繋がりが出来たことも良かった点です。先日は、コーディネーター向け研修会の受講で同席した福井市薬剤師会の役員さんを通じて、原告団・弁護団で作った肝炎リーフを福井市内の調剤薬局に配布してもらうことが出来ました。

### Q. 今後、コーディネーターとして目標はありますか

自分自身が肝炎患者であるということは、コーディネーター活動にあたっての自分の強みです。患者さんと同じ目線にたつてのサポートを心がけています。同じ肝炎患者という立場で相手に寄り添ったサポートをすることが目標です。

## 全国「NGP」のつどいに参加しました！

### (NGP=ネクスト・ジェネレーション・プレインティブ：次世代原告)

2023年2月19日、東京の原告団事務所で行われた「NGP」のつどいに参加しました。全国各地から 30代から 60代の原告 37名が参加。北陸からは3名が参加しました。活動経験豊富な方から活動未経験の方までたくさん参加して盛り上がりました。参加者が提案した“NGP”の名称を投票で決定。交流会では、活動未経験グループでは、[検査項目]、[治療に向けての生活]などの情報共有もしました。若い世代の繋がりを広めていくことが目的です。公式LINE等でご案内しますので、お気軽にお申込みください！

【北陸原告団共同代表川上ゆきえ】

#### ■B型肝炎訴訟の提訴者数・和解者数

(2023(令和5)年3月20日現在)

【全国】提訴者数 34723人

(被害者数 31573人)

和解者数 30497人

(被害者数 27300人)

【北陸】提訴者数 954人

(被害者数 862人)

和解者数 796人

(被害者数 695人)



## 請願署名のお礼とご報告

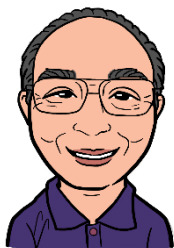
皆様には、ウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者への支援と治療薬開発を求める請願書の署名にご協力をいただきありがとうございました。

新型コロナの感染拡大の影響もあり署名活動に制限がある中、皆様のご協力により、富山・石川・福井の3県で合計564筆の署名が集まりました。ご協力いただいた署名は、現在開催されている第211回通常国会に提出されます。

5月30日に衆議院第一議員会館で行われる国会請願院内集会において、皆様の署名を含む全国から集められた請願署名が国会議員に託されます。世話人を中心に合計3名の原告と弁護士2名がこの集会に参加し、集会後に地元選出の国会議員を訪問し、肝炎対策の今後の支援と協力をお願いする予定です。【北陸弁護団事務局長 弁護士渡邊智美】

## 【連載企画】各地原告団代表の紹介

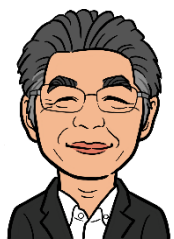
### 新潟原告団代表 神田 光廣



- ①病態:慢性肝炎⇒肝がん
- ②ご当地のお勧め:日本一長い信濃川／萬代橋／ラーメン
- ③趣味:何でもやりましたが下手な横好きです。歴史探訪。
- ④一目惚れしたことは? :いずれも高根の花
- ⑤B肝活動へ一言:代表になった以上、精一杯のことはやります。
- ⑥北陸原告へ一言:北陸と新潟は距離的に近いので出来ることは協力していきたいですね。オレンジ通信は良くできていて感心しています。



### 山陰原告団代表 山本 雅和



- ①病態:肝がん
- ②ご当地のお勧め:毎年旧暦10月は『神在月』。全国から神様が集まる縁結びの神様として信仰を集める「出雲大社」をはじめとする神話の里を一度はお訪ね下さい。
- ③趣味:一番長く続いているのが山歩きです。
- ④一目惚れしたことは? :何度か痛い目にもあいました。…人も、物も。
- ⑤B肝活動へ一言:B型肝炎という共通項で繋がる私たち。互を認め合い、支え合いながら、活動への理解とともに一人でも多くの方との時間を共有できれば嬉しいです。
- ⑥北陸原告へ一言:山陰は鳥取・島根の小さな原告団。地域活動に創意や熱意ある北陸原告団をお手本として活動を進めたいと思い、再々助けを乞いますが、全く足元にも及ばずです。

NO.19

### 我らの！ 弁護団員のご紹介

弁護士 寺田 昇市 てらだ しょういち えちぜん法律事務所(福井県)

我らの弁護団員のご紹介をいたします。  
弁護士の意外な一面を知ってより一層親しみをもっていただければと思います。

北陸弁護団での役割は?…広報班

好きな食べ物は?…おはぎ、饅頭、あべかわ餅

趣味は?…海外旅行。コロナでなかなか行けなくて、悲しいです。

今までで1番嬉しかったことは?…初めて行く海外の空港に降り立った瞬間は、いつも「サイコー！」ってくらい、嬉しいです。

一目惚れをしたことは?…あります。今は亡き愛犬に初めて会ったとき。

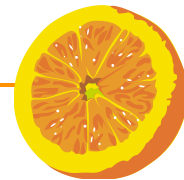
弁護士になろうと思った理由は?…高齢者の詐欺被害を少しでも減らしたいと思い、志しました。

最後に一言…寂しがり屋なので、お気軽に声をかけてください！





## 今後の主なスケジュール



### 【 裁判期日 】

#### 金沢地裁

日 時：次回 6 月 16 日(金)午後 1 時半～  
次々回 9 月 15 日(金)午後 1 時半～  
場 所：金沢地方裁判所 202 号法廷

#### 富山地裁

日 時：次回 6 月 21 日(水)午後 1 時半～  
次々回 9 月 27 日(水)午後 1 時半～  
場 所：富山地方裁判所


### 【 その他の予定 】

#### 北陸の予定

●北陸原告団総会・肝臓落語・交流会  
2023 年 7 月 15 日(土) 11 時～15 時  
場所：TKP 金沢新幹線口会議室 4B（石川県  
金沢市堀川新町 2-1 井門金沢ビル 4 階）

#### 全国の予定

●全国原告団交流集会  
2023 年 9 月 16 日～ 17 日@札幌




## 登録

# LINE公式アカウント

LINE公式アカウント運用中です！

ご登録用二次元バーコード



ご登録はこちらから

「B 肝北陸原告団・弁護団」のLINE公式アカウントを運用中です。原告のみなさま限定で、交流集会・医療講演会等のご案内、裁判概要のご報告等LINEを使って直接、情報をお届けします。

ご登録は簡単。右上の登録用二次元バーコード(QR コード)を読み込んで、LINEの「トーク」画面から、「【LINE 版】オレンジ通信」をタップし、お名前、お住まいの県名を入力し、送信してください。(お名前等の情報は全体には共有されませんのでご安心ください)

なお、LINE 公式アカウントの名称を「B 肝北陸原告団弁護団」から「【LINE 版】オレンジ通信」に変更しております。この変更は、原告であることを知られたくない場合があることに配慮するためですので、ご理解ください。



## 編集後記



人は変わる時には周りの支えも必要だと実感しました。辛くて眠れない日々が続きましたが、命を懸けて、変わろうしている本人を、周りは笑顔で迎え、支えることが大切だと教えて貰えました。【川上】

「幾田りら」と「伶」という歌手の歌にはまっています。はまりすぎて音質にもこだわるようになり「沼音の世界」をうたうウォークマンを買ってしまった。。。今も聞きながらこれを書いています。

【西山】

今年の3月、4月は人生の中で一番働いた時期でした。なんと、2ヵ月間で休みが2回です。病気でも気力があれば、まだまだ やれること実証できました。でも 疲れた。【矢来】

暖かくなってきました。我が家では、毎年、野菜や果物を育てています。今年、ブルーベリーと温州ミカンにチャレンジしていますが、おいしい実がなるかどうかとても楽しみです。

【西尾】

GWに九州の百名山九重山と阿蘇山に登ってきました。あいにくのガスと雨模様で山頂からの景色は見えませんでした。火山の荒々しさと広大な草原の絶景、各地の温泉を堪能してきました。【藤田】

とあるアンケートでは、コロナへの警戒をインフルエンザ以下にする人が6割とのこと。昨年罹った身としては、インフルエンザよりも辛かったことを思い出し、複雑な心境です。

【中澤】